

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/11/13

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.36	-0.05
JPY/THB	0.2090	-0.0012
USD/JPY	154.79	0.63
EUR/THB	37.53	-0.02
EUR/USD	1.1593	0.0011
USD/CNH	7.1113	-0.010
SGD/THB	24.87	-0.06
AUD/THB	21.17	0.01
USD/INR	88.64	0.07
USD Index	99.50	0.05

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	4,213.6	97.3
WTI (Oil)	58.49	-2.55
Copper	10,944.0	117.0

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,284.81	-15.66
NIKKEI (JP)	51,063.31	220.38
DOW (US)	48,254.82	326.86
S&P500 (US)	6,850.92	4.31
SHCOMP (CN)	4,000.14	-2.62
DAX(GER)	24,381.46	293.40

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.521	-0.034
10Y (THB)	1.790	-0.021
5Y (USD)	3.672	-0.042
10Y (USD)	4.069	-0.047

Fund Flow (Overseas Investors)

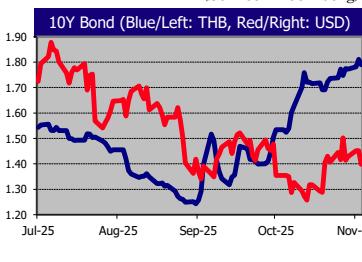
	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,386)	1052.6
Bond net flow	2,239	3212.6

*compared with previous day

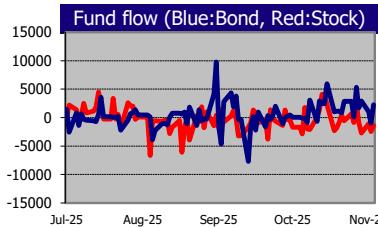
(Source: Bloomberg)



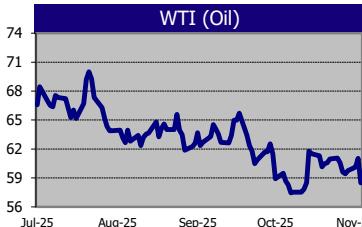
5Y Bond (Blue/Left: THB, Red/Right: USD)



10Y Bond (Blue/Left: THB, Red/Right: USD)

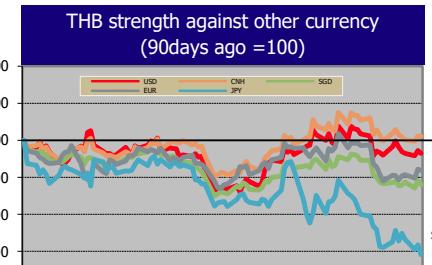
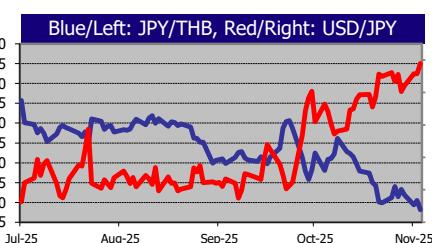


Fund flow (Blue:Bond, Red:Stock)



WTI (Oil)

MIZUHO



Yesterday's market summary

●ドルバーツ

昨日のドルバーツは上に往ってこいの展開。32バーツ半ばの水準で取引を開始すると、米政府機関再開の観測が高まる中で上昇。ただ、32バーツ半ばのレンジを抜けるには至らず、バンコク時間午後には下落に転じると、海外時間では米金利低下に伴い下げ幅を拡大。結局オープンとほぼ同水準まで戻し、32.36レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。154円台前半の水準で取引を開始すると、円売り地合いとなる中で底堅く推移。片山財務大臣から円安牽制発言が確認されるも、影響は限定的なものに留まり、海外時間入りにかけて154円台後半まで上昇した。海外時間に入ってもトレンドは変わらず、底堅い推移が継続し、一時今年2月以来となる155円台に乗せる場面も見られた。ただ、以降は勢いが失速。一時154円半ばまで下落すると、終盤にかけてはじりじりと154円台後半まで戻し、そのまま154.79レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

米国で政府閉鎖が始まった10月以降、重要経済指標の発表が相次いで見送られ、加えて11月以降は日米欧の金融政策決定会合が12月中旬まで予定されていないタイミングということもあり、足元の各種相場は材料出尽し感から方向性が定まりにくい局面が続いている。そのような中、ようやく先ほど、米議会下院がつなぎ予算を可決したとの報道があり、これにより米政府機関の一部閉鎖は当面の間終結を迎えるとともに、今後は少しずつ米経済の正常化と、重要指標の発表等による景気の見える化が進むことが期待される。ただし、政府機関の業務再開には数日から1週間程度の時間を要することも報じられており、ここからすぐに霧が晴れるわけではないことは意識しておきたい。そもそも政府閉鎖期間中はデータの収集作業がほぼ実施されていないため、一部の指標は公表されないままとなる可能性があるほか、仮に遅れて集計できるものがあったとしても一部は補完推計あるいは前月と横置きといった作業が入るため、発表されてもその内容自体の信頼性を疑う声が上がることは想像にたやすい。ゆえに結局のところ不透明感が解消されず、引き続き相場に方向感が出ないというシナリオは想定しておく必要がある。どのアセットクラスも不透明感が続く地合いのなかでストレスが溜まっている可能性があり、ここからは公表停止となっていた経済指標が発表される度にボラが高まる展開に注意したい。(吉田)